

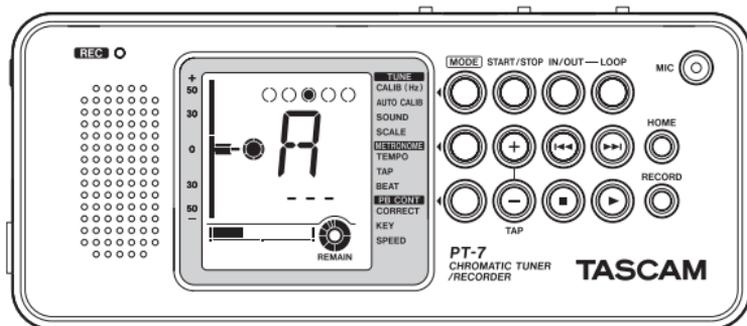
D01088101B

TASCAM

TEAC PROFESSIONAL

PT-7

Chromatic Tuner / Recorder



取扱説明書

安全にお使いいただくために

この取扱説明書の表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は、次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味

| | |
|--|---|
|  警告 | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  注意 | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

絵表示の例

| | |
|---|--|
|  | △ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 |
|  | ⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。 |
|  | ● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。 |

⚠ 警告

万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店またはティアック修理センターに修理をご依頼ください。



万一機器の内部に異物や水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

この機器の上に小さな金属物を置かないでください。中に入った場合は、火災・感電の原因となります。

船舶などの直流(DC)電源には、接続しないでください。火災・感電の原因となります。

航空機の運航の安全に支障を及ぼすおそれがあるため、離着陸時の使用は、航空法令により制限されていますので、離着陸時は本機の電源をお切りください。

安全にお使いいただくために

⚠ 警告



この機器を絶対に分解しないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は、販売店またはティアック修理センターにご依頼ください。

この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 注意



移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

オーディオ機器、スピーカーなどの機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。



この機器にACアダプターを接続する場合は、別売の専用ACアダプター (PS-P520) をご使用ください。それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。

ACアダプター使用時には、コンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くようにしてください。

電源を入れる前には、音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

⚠注意

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないように注意してください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪影響を与えることがあります。



次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。

- ・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- ・ 湿気やほこりの多い場所
- ・ ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所

安全にお使いいただくために

電池の取り扱いについて

本製品は、電池を使用しています。誤った使用による発熱、発火、液漏れなどを避けるため、以下の注意事項を必ず守ってください。

⚠ 警告 (乾電池に関する警告)



乾電池は、絶対に充電しないでください。
乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

⚠ 警告 (電池に関する警告)



電池を入れるときは、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、電池ケースの表示されているとおりに正しく入れてください。
間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となる場合があります。

保管や廃棄をする場合は、他の電池や金属製のものと接触しないように、テープなどで端子を絶縁してください。

使い終わった電池は、電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村の廃棄方法に従って捨ててください。



指定以外の電池は、使用しないでください。また、新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となる場合があります。

⚠ 警告 (電池に関する警告)

電池を金属製の小物類と一緒に携帯、保管しないでください。電池がショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。

電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。
電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

液が目に入ったときには、失明の恐れがありますので、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師にご相談ください。液が体や衣服に付いたときは、皮膚の怪我・やけどの原因になるのできれいな水で洗い流したあと、ただちに医師にご相談ください。

電池の挿入や交換は、本機の電源を切った状態で行ってください。

長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。
もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

分解しないでください。
電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。



目次

| | | | |
|---------------------|----|---------------------------|----|
| 安全にお使いいただくために | 2 | 第3章 準備 | 20 |
| 電池の取り扱いについて | 6 | 電源の準備 | 20 |
| 第1章 はじめに | 10 | 電源について | 20 |
| 本機の概要 | 10 | 電池で使用する | 20 |
| 本製品の構成 | 10 | ACアダプターで使用する（別売） | 20 |
| 本書の表記 | 11 | 外部マイクの接続 | 21 |
| 商標に関して | 11 | 譜面台に取り付ける | 22 |
| 設置上の注意 | 11 | 第4章 チューナー／ピッチトレーナー機能を使う . | 23 |
| 結露について | 12 | キャリブレーション | 23 |
| 製品のお手入れ | 12 | オートキャリブレーション | 23 |
| アフターサービス | 12 | 音律（スケール）について | 24 |
| 第2章 各部の名称と働き | 13 | 楽器のチューニングをする | 25 |
| トップパネル | 13 | ピッチトレーニングをする | 27 |
| リアパネル | 15 | チューナーの応答速度を設定する | 28 |
| 左サイドパネル | 16 | 第5章 メトロノームを使う | 29 |
| 右サイドパネル | 16 | テンポを設定する | 29 |
| ボトムパネル | 17 | 拍子を設定する | 30 |
| ディスプレイ | 18 | メトロノームをスタート／ストップ | 31 |
| | | メトロノームの音色を変更する | 31 |

| | |
|-----------------------------|-----------|
| 第6章 録音／再生機能を使う | 32 |
| 録音 | 32 |
| 入力レベルの設定について | 32 |
| 録音する | 32 |
| 録音中に新たなトラックとして録音を開始する.. | 33 |
| 録音を停止する | 33 |
| 再生する | 33 |
| 再生トラックを選択する | 33 |
| 早戻し／早送りする | 33 |
| スピードはそのまま音程を変えて再生する | 33 |
| 音程はそのままスピードを変えて再生する | 34 |
| ループ再生する | 34 |
| トラックを消去する | 35 |
| 現在のトラックだけ消去する | 35 |
| すべてのトラックを消去する | 36 |
| 録音した音のピッチを自動補正する | 36 |
| | |
| 第7章 仕様 | 37 |
| 定格 | 37 |
| 入出力定格 | 37 |
| 一般 | 38 |
| バックアップメモリー | 38 |
| 寸法図 | 39 |

第1章 はじめに

このたびは、TASCAM Chromatic Tuner/Recorder PT-7をお買いあげいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいたうえで、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト (<http://www.tascam.jp/>) からダウンロードすることができます。

本機の概要

- リアルタイムにピッチを検出／表示
- マイク内蔵
- 外部コンタクトマイク入力端子装備
- サウンドメモに使える約20分の録音機能
- 再生時、ピッチを補正して再生可能
- 録音後、演奏のピッチの確認が可能
- 再生時、スピードはそのまま音程だけ変える、音程はそのままスピードだけ変える、ということが可能
- 再生時、ループ（繰り返し）再生が可能
- キャリブレーション機能付チューナー
- 8種類の音律（スケール）に対応
- メトロノーム機能（=30～300）、1～7拍子、2連符、3連符、3連中抜き、4連符に対応

- スピーカー内蔵
- ヘッドホン接続可能
- 譜面台に引っ掛けてつかえるフックを装備
- 机の上に置いても使える自立構造
- 単3形電池1本、または別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520）で駆動可能

本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。

なお、開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。

付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、当社までご連絡ください。

- | | |
|-------------|----|
| ● 本体 | x1 |
| ● 単3形乾電池 | x1 |
| ● 保証書 | x1 |
| ● 取扱説明書（本書） | x1 |

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のキー／端子などを「**MODE**キー」のように太字で表記します。
- ディスプレーに表示される文字を“**G#**”のように“**_**”で括って表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

商標に関して

- TASCAMは、ティアック株式会社の登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

設置上の注意

- 本製品の動作保証温度は、摂氏5度～35度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質低下の原因、または故障の原因となります。
 - 振動の多い場所。
 - 窓際などの直射日光が当たる場所。
 - 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所。
 - 極端に温度が低い場所。
 - 湿気の多い場所や風通しが悪い場所。
- 本機の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器がある場合にハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- テレビやラジオの近くで本機を動作させると、テレビ画面に色むらが出たり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。

第1章 はじめに

- 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。
- 放熱を良くするために、本製品の上には物を置かないでください。

結露について

本製品を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置した後、電源を入れてお使いください。

製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい布でからびきしてください。化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を痛めたり色落ちさせる原因となります。

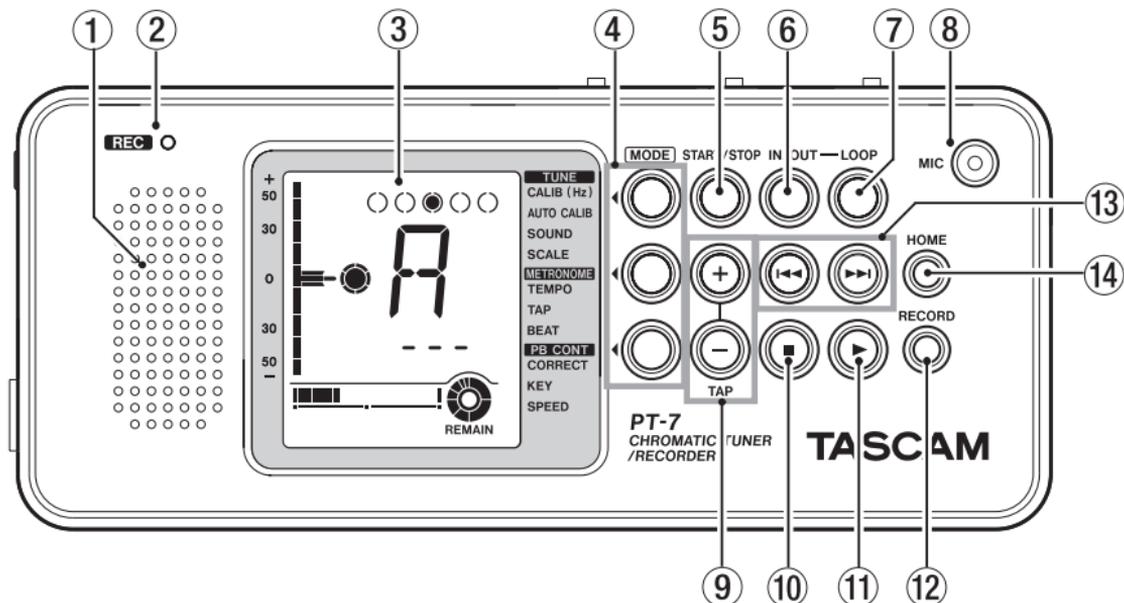
アフターサービス

- この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、所定事項を記入してお渡ししますので、大切に

に保管してください。

- 保証期間は、お買い上げ日より1年です。保証期間中は、記載内容によりティアック修理センターが修理いたします。その他の詳細につきましては、保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センターにご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはティアック修理センターまでご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責については、ご容赦ください。
 - 型名、型番 (PT-7)
 - 製造番号 (Serial No.)
 - 故障の症状 (できるだけ詳しく)
 - お買い上げ年月日
 - お買い上げ販売店名
- お問い合わせ先につきましては、巻末をご参照ください。

トップパネル



① 内蔵スピーカー

モニター用のスピーカーです。録音した音、基準音や、メトロノームのクリック音を出力します。リアパネルの**SPEAKER ON/OFF**スイッチでスピーカーから音を出すか出さないかの選択ができます。

メモ

内蔵スピーカーの特性上、ボリュームを上げても聞き取りにくい音があります。

第2章 各種の名称と働き

② RECインジケーター

録音時に点灯します。

③ ディスプレー

各種情報を表示します。

④ MODEキー

TUNE (チューナー)、METRONOME (メトロノーム)、PB CONT(特殊再生)の各機能のモードを切り換えます。

⑤ START/STOPキー

メトロノームのスタート/ストップ、およびチューニング時に、スピーカーから基準音を出したり止めたりします。

⑥ IN/OUTキー

録音した音を再生するときの、リピート再生の始点 (IN) と終点 (OUT) を設定または解除します。

⑦ LOOPキー

録音した音を再生するときの、リピート再生を有効/無効にします。

⑧ MIC

ピッチトレーナー機能や録音に使用する内蔵モノラルマイクです。

メモ

INPUT端子にマイクなどを接続している場合は、内蔵マイクは使用できません。内蔵マイクを使用したい場合は、INPUT端子に何も接続しないでください。

⑨ TAP +/ - キー

各種内部設定のパラメーターを設定します。

⑩ STOPキー

録音の停止または再生を停止します。

⑪ PLAYキー

録音した音を再生します。

⑫ RECORDキー

再生中または停止中にこのキーを押すと、録音を開始します。

録音中にこのキーを押すと、その時点から新たなトラック (ファイル) として録音を継続します。

⑬ ◀◀ / ▶▶ キー

停止中または再生中に、これらのキーを短く押すと、前の曲/次の曲にスキップします。

長く押すと、押している間、早戻し/早送り再生を行います。

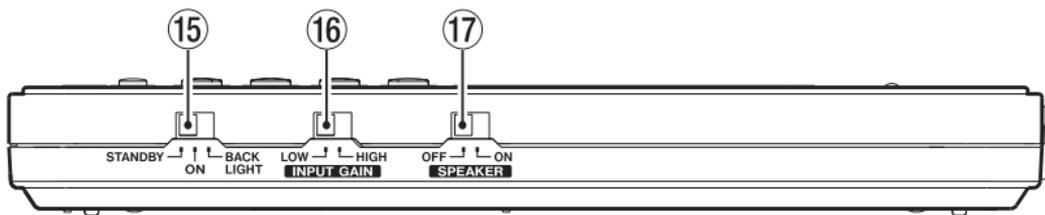
⑭ HOMEキー

このキーを押すと、各設定モードを抜けます。ディスプレイの設定値表示部分に、現在のトラック番号（曲番）が表示されます。

メモ

録音トラック（ファイル）が無い場合は、ディスプレイの設定値表示部分は“---”と表示します。

リアパネル



⑮ STANDBYスイッチ

本機の電源のオン/スタンバイ状態を行います。

STANDBY：電源をスタンバイ状態にします。

ON：電源をオンにします。ディスプレイのバックライトは点灯しません。

BACK LIGHT：電源をオンにし、ディスプレイのバックライトが点灯します。

⑯ INPUT GAINスイッチ

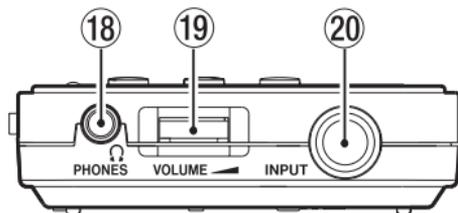
INPUT端子に入力する信号のレベルに合わせて設定します。

入力レベルが小さい場合は**HIGH**に、入力レベルが大きすぎる場合は**LOW**に設定します。

⑰ SPEAKERスイッチ

内蔵スピーカーの出力をオン/オフします。

左サイドパネル



⑱ PHONES端子

ヘッドホンを接続します。

⑲ VOLUMEダイヤル

ヘッドホンおよび内蔵スピーカーの音量を調節します。

⑳ INPUT端子

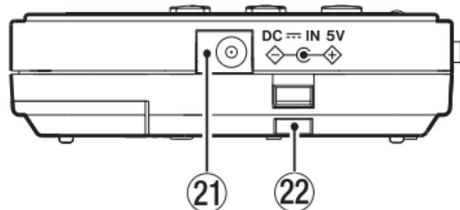
本機に音を入力するための外部コンタクトマイクなどを接続します。

メモ

この端子にコンタクトマイク等を接続している場合は、内蔵マイクは使用できません。内蔵マイクを使用したい場合は、この端子に何も接続しないでください。本機の入力は、エレキギターなどの直接入力には対応しておりません。エレキギターなどを直接入力した場合は、録音時に音が歪むことがあります。

ます。その場合は、楽器やエフェクターなどの出力を調節し、録音時に歪まないようにしてください。

右サイドパネル



㉑ DC IN端子

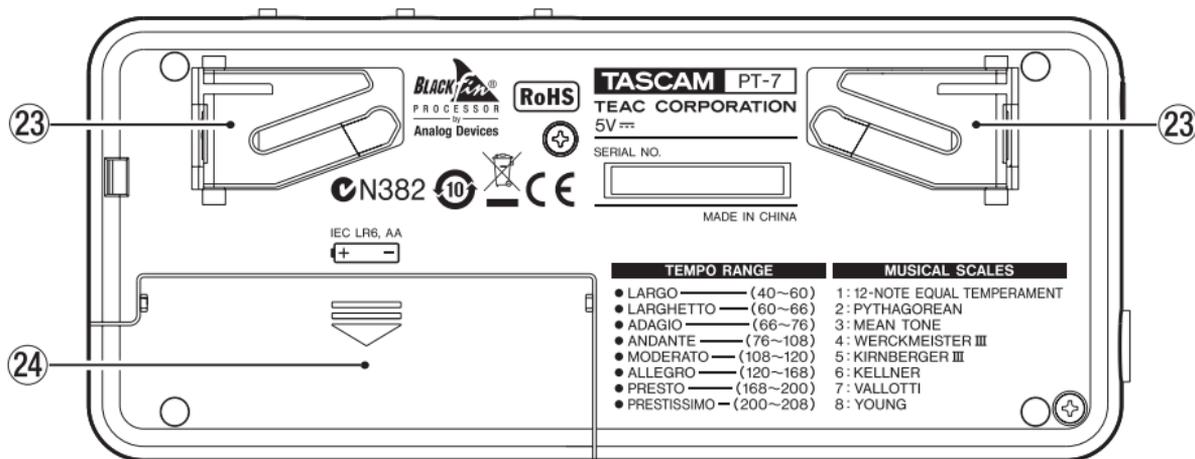
別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520）を接続します。

それ以外のACアダプターは、接続しないでください。

㉒ ストラップ取付口

ストラップを取り付けます。

ボトムパネル



②③ スタンド

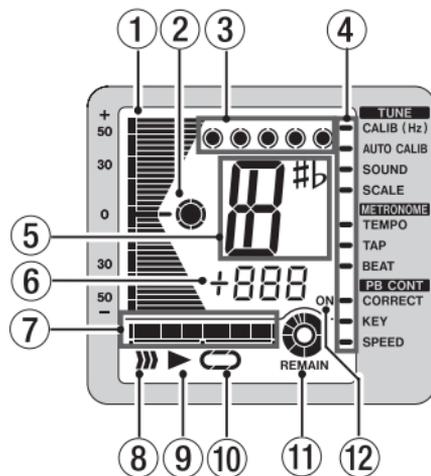
スタンドを開いて自立させることができます。また、本機を譜面台に取り付けることもできます。

②④ 電池ケース（単3形電池）

本機の電源になる電池（単3形電池、1本）を収納するケースです。（→ 20ページ「電池で使用する」）

ディスプレイ

本機のディスプレイには、以下の情報が表示されます。



① ピッチガイドバー表示

基準となる音に対してのピッチ（音程）のずれを、バーメーターを使って表示します。±60セント（100セントで半音）の範囲で表示します。

0～30セント：2.5セント単位

30～50セント：5セント単位

50～60セント：10セント単位

② ピッチガイドサークル表示

基準となる音に対してピッチ（音程）のずれがほとんど無い場合は、真ん中の丸い部分とその周りが点灯します。

ほとんどずれは無いが、若干音程がゆれている場合は、真ん中の丸い部分が点灯したまま、丸い部分の外側が回転します。

大きくずれている場合は、点灯しません。

③ ビート表示

メトロノーム使用時に拍子に合わせて丸い部分が動きます。

④ マーカー表示

現在設定を行っている機能を指します。

⑤ 音名表示部

音名をアルファベットと“#”、“b”を使って表示します。

| | | | | | | | | | | | |
|---|----|---|----------------|---|---|----|---|----|---|----------------|---|
| ド | ド | レ | ミ | ミ | フ | フ | ソ | ソ | ラ | シ | シ |
| | # | | b | | ア | ア# | | # | | b | |
| C | C# | D | E ^b | E | F | F# | G | G# | A | B ^b | B |

キャリブレーション時は、基準周波数の小数点第一位を表示します。

⑥ 設定値表示部

各モードにおける設定値を表示します。
キャリブレーション時は、基準周波数を表示します。

⑦ プレイポジションバー／レベルメーター表示

現在の再生位置を表示します。トラック全体の長さを100%とし、5%単位で位置を表します。
録音中は録音レベルメーターを表示します。

⑧ 矢印マーク表示

再生中、早巻き再生中、録音中に点灯します。

⑨ PLAY表示

再生中に点灯します。

⑩ ループ表示

ループインポイント設定時に、ループ表示の左の部分が点灯します。ループアウトポイントが設定されると、またはループ再生中は、この部分が回転する表示をします。

ループイン／アウトポイントが設定されているが、ループ再生が解除（オフ）になっているときは、“**C**”が点灯します。

⑪ メモリー残量表示

記録容量の残りスペースを表示します。全体を100%とし、75%、50%、38.5%、25%、18%、10%、5%、0%で表します。

⑫ ON表示

CORRECTモードのオン時に点灯します。

第3章 準備

電源の準備

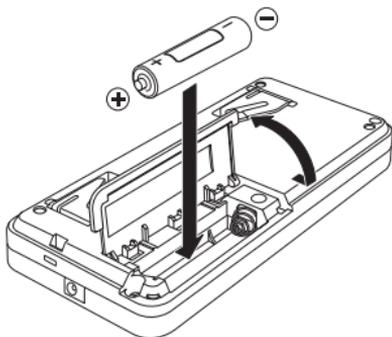
電源について

本機は、単3形電池1本または別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520）を使って電源を供給します。

本機は、単3形アルカリ乾電池、および単3形ニッケル水素電池も使用することができます。

電池で使用する

本機の裏面にある電池ケースふたを開け、⊕と⊖の向きを電池ケースの表示に合わせて電池を正しく入れ、電池ケースふたを閉めます。



電池が消耗してくると、設定値表示部に“bAt”と“Lo”を交互に表示します。この表示が出た場合は、電池を交換してください。

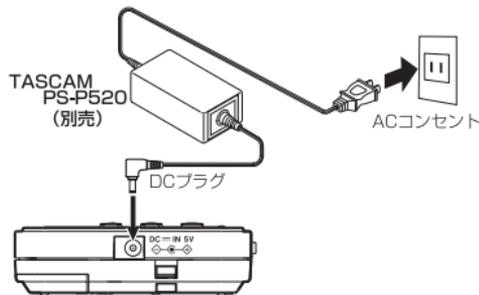
別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520）に切り換える場合は、一旦電源を切ってからACアダプターを接続してください。

注意

- 本機には、充電機能はありません。
- 付属の単3形乾電池は動作確認用です。そのため寿命が短い場合があります。

ACアダプターで使用する（別売）

図のように、別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520）をDC IN 5V端子に接続します。



注意

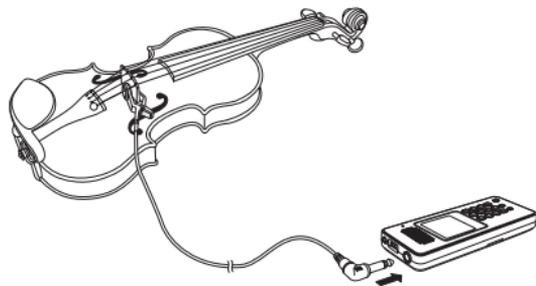
ACアダプターで使用する場合は、必ず別売の専用ACアダプター（TASCAM PS-P520）と電源コードを接続してください。それ以外のものを使用すると故障、火災、感電の原因となります。

メモ

電池とACアダプターの両方をセットした場合は、ACアダプターから供給されます。

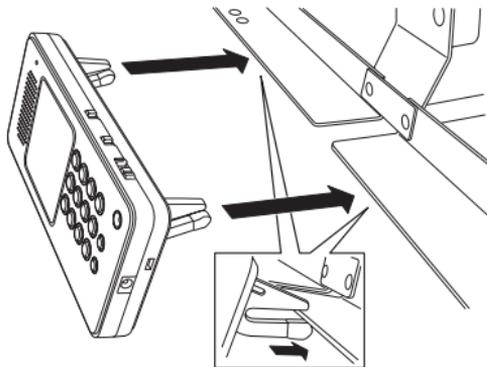
外部マイクの接続

左サイドパネルにあるINPUT端子に、楽器に直接取り付ける外部マイク（コンタクト型）などを接続することができます。複数の楽器を同時に演奏するときなどの周りが騒がしい状況下で、内蔵マイクではピッチ調整がしづらい場合は、外部マイクを使うことにより、よりピッチ調整しやすくなります。



譜面台に取り付ける

下図のように、本機を譜面台に取り付けることができます。ボトムパネルのスタンドを開き、スリットの部分を使って譜面台に取り付けます。



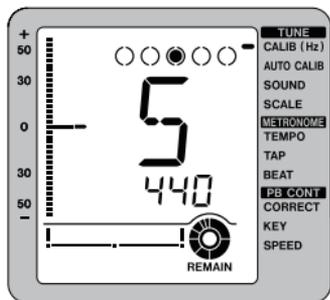
注意

スタンドは、本機を譜面台にしっかりと固定するものではありません。本機が譜面台から落下しないよう、ご使用には十分注意してください。

キャリブレーション

A (ラ) の基準周波数を手入力で設定します。設定範囲は、349.0 ~ 499.0Hzの範囲、0.1Hz単位です。初期値は440.0Hzです。

1. ディスプレーの**CALIB (Hz)** マーカーが点灯するまで、一番上の**MODE**キーを押します。
2. ディスプレーの設定値表示部と音色表示部に基準周波数が表示されますので、**+**キーまたは**-**キーを使って設定します。**+**キーと**-**キーを同時に押しと、「**440.0**」(初期値) になります。下図は、「**440.5Hz**」を表示している例です。

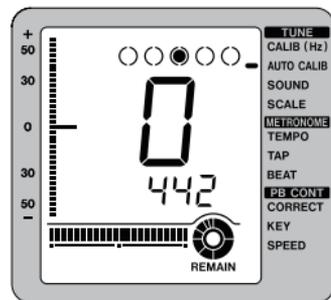


3. **HOME**キーを押すと、キャリブレーションモードを抜けます。

オートキャリブレーション

A (ラ) の基準周波数を入力音に合わせます。設定範囲は、349.0 ~ 499.0Hzの範囲、0.1Hz単位です。

1. ディスプレーの**AUTO CALIB**マーカーが点灯するまで、一番上の**MODE**キーを押します。
2. 基準となる継続する音を内蔵マイク、もしくは**INPUT**端子から入力します。
本機は、A (ラ) の音を自動的に計測し基準音に設定します。
計測中は、プレイポジションバーが左から右へ移動し右端で止まれば、設定完了であることを示します。



第4章 チューナー／ピッチトレーナー機能を使う

3. HOMEキーを押すと、オートキャリブレーションモードを抜けます。

メモ

オートキャリブレーションが完了した後、再度設定を行いたい場合は、再び上記操作、1、2を行います。

注意

- 入力する音は単音としてください。複数の音を入力すると正しくキャリブレーションできません。
- 一定の音程の音を一定時間入力してください。音程が不安定だと正しくキャリブレーションできません。
- 音が小さすぎたり、大きすぎる場合も、正しくキャリブレーションできません。リアパネルのINPUT GAINスイッチで入力レベルを調節してください。

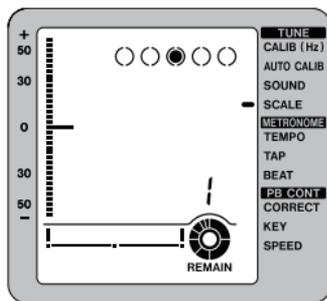
音律（スケール）について

本機は、以下の8つの音律（スケール）に対応しています。

- 1：12音平均律（12-note equal temperament）
- 2：ピタゴラス音律（Pythagorean）
- 3：ミーントーン（Mean tone）
- 4：ヴェルクマイスターⅢ（Werckmeister III）
- 5：キルンベルガーⅢ（Kirnberger III）
- 6：ケルナー（Kellner）
- 7：ヴァロッティ（Vallotti）
- 8：ヤング（Young）

第4章 チューナー／ピッチトレーナー機能を使う

1. SCALEの横のマーカ―が点灯するまで、一番上のMODEキーを押します。
2. ディスプレーの設定値表示部に1から8までの数字が表示されます。ボトムパネルに1：から8：に対応する音律が記載されています。+キーまたは-キーを使って音律を選択します。+キーと-キーを同時に押すと、12音平均律になります。

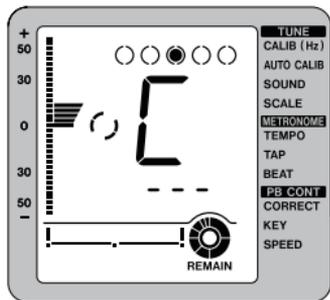


3. HOMEキーを押すと、音律選択モードを抜けます。

楽器のチューニングをする

- 内蔵マイクまたは外部マイクを使ってチューニングする（オートモード）
1. 本機の内蔵マイクを使ってチューニングをする場合は、INPUT端子に何も接続しないでください。外部マイクを使う場合は、外部マイクを本機に接続してください。
 2. HOMEキーを押します。
 3. 楽器を単音で鳴らします。ディスプレイの音名表示部に、最も近い音名を表示します。また、ディスプレイのピッチガイドバーに、音のずれを表示します。
 4. 合わせたい音名が表示され、ピッチガイドバーのずれがなくなり、ピッチガイドサークルが点灯するよう、楽器をチューニングしてください。

第4章 チューナー／ピッチトレーナー機能を使う



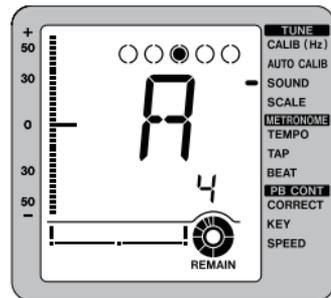
注意

単音を鳴らし、関係ない音が入力されないようにしてください。複数の音を鳴らすと、正しくチューニングができません。

● 音名を指定し、その音を聞きながら チューニングする（サウンドモード）

1. SPEAKERスイッチをONにします。
2. SOUNDの横のマーカーが点灯するまで、一番上のMODEキーを押します。
3. +キーまたは-キーを使って合わせたい音名を選択します。設定範囲は、“C2”～“C6”で、半音単位です。+キーと-キーを同時に押すと、“A4”になります。

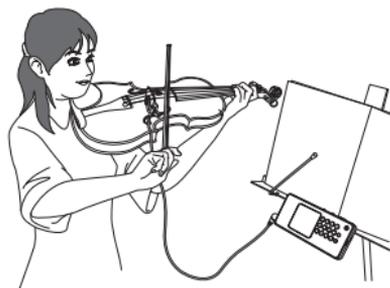
4. START/STOPキーを押します。本機のスピーカーから音が出ます。VOLUMEダイヤルで音量を調節します。
5. 楽器を単音で鳴らし、本機のスピーカーから出力される音に合わせて楽器をチューニングします。



ピッチトレーニングをする

一人静かな場所で練習をする場合は、内蔵マイクを使うと良いでしょう。

本機のマイクに向かって演奏します。



HOMEキーを押します。

演奏を始めると、ディスプレイのピッチガイドバー、ピッチガイドサークル、音名表示部に、リアルタイムに基準音と演奏音のずれを表示します。

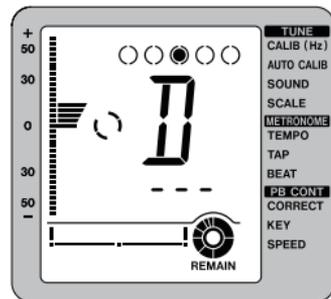
この表示を見ながら練習してください。

メモ

内蔵マイクを使ってトレーニングを行う場合は、外部マイクを接続しないでください。

複数の人数や、騒がしい場所でトレーニングをする場合は、外部マイクを使うと良いでしょう。

外部マイクを楽器に取り付け、本機の左サイドのINPUT端子に入力します。



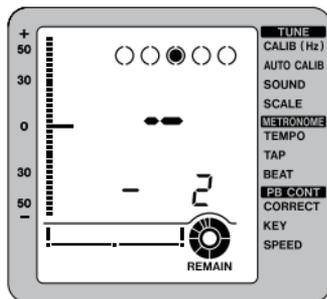
チューナーの応答速度を設定する

チューナーの応答速度は、5段階あります。

“+2”（最も速い）、“+1”、“0”（初期値）、“-1”、
“-2”（最も遅い）

一番上の**MODE**キーを押しながら、+キーまたは-キーを押すと、現在の応答速度を表示します。**MODE**キーを押した状態で、続けて+キーまたは-キーを押すと、応答速度を変更します。

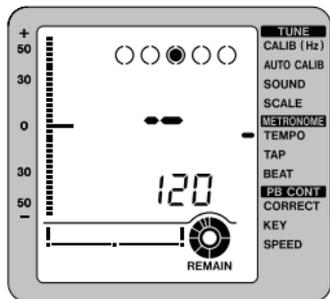
MODEキーを押しながら、+キーと-キーを同時に押すと、“0”（初期値）になります。



テンポを設定する

テンポを手入力で設定します。設定範囲は、30～300 BPM (Beat Per Minute = 1分間あたりの4分音符の数) の範囲、1BPM単位です。初期値は、120BPM (J =120) です。

1. ディスプレーの**TEMPO**マーカーが点灯するまで、上から2番目の**MODE**キーを押します。
2. ディスプレーの設定値表示部にテンポ値が表示されますので、+キーまたは-キーを使って設定します。+キーと-キーを同時に押すと、“120” (初期値) になります。

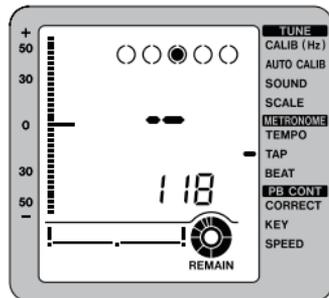


3. HOMEキーを押すと、テンポ設定モードを抜けます。

● TAPモード

+キーまたは-キーをたたいてテンポを設定します。

1. ディスプレーの**TAP**マーカーが点灯するまで、上から2番目の**MODE**キーを押します。
2. +キーまたは-キーをたたくとディスプレイの設定値表示部にテンポが表示されます。希望のテンポになるまで、キーをたたってください。+キーと-キーを同時に押すと、“120” (初期値) になります。



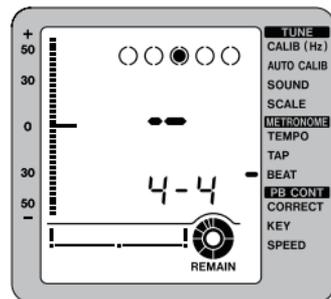
3. HOMEキーを押すと、テンポ設定モードを抜けます。

拍子を設定する

本機は、以下の拍子の設定が可能です。

- 0-0：ミュート
- 1-4：アクセント無し
- 2-4：2/4拍子
- 3-4：3/4拍子
- 4-4：4/4拍子
- 5-4：5/4拍子
- 6-4：6/4拍子
- 7-4：7/4拍子
- 8：2拍子（8分音符）
- 12：3連符
- SHU：3連中抜き（シャッフル）
- 16：4連符

1. ディスプレーのBEATマーカ―が点灯するまで、上から2番目のMODEキーを押します。
2. ディスプレーの設定値表示部に拍子が表示されますので、+キーまたは-キーを使って設定します。+キーと-キーを同時に押すと、4-4（4/4拍子）になります。



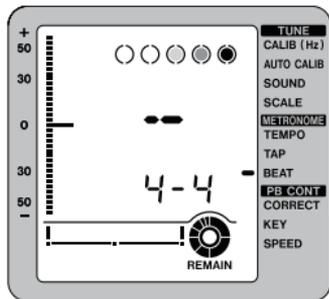
3. HOMEキーを押すと、拍子設定モードを抜けます。

メトロノームのスタート/ストップ

START/STOPキーを押して、メトロノームをスタート/ストップします。

リアパネルのSPEAKERスイッチで、スピーカーからメトロノーム音を出力するかしないかを設定できます。

メトロノームをスタートさせると、メトロノーム音をスピーカーから出力させるのと同時に、ディスプレイのビート表示が拍子に合わせて動きます。



VOLUMEダイヤルで音量の調節をします。

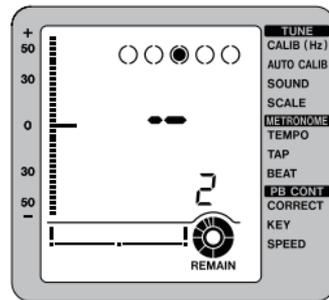
メトロノームの音色を変更する

本機のメトロノームの音色は、2種類あります。

- 1: アコースティック音
- 2: 電子音

上から2番目のMODEキーを押しながら、+キーまたは-キーを押すと、現在のメトロノーム音色を表示します。

MODEキーを押した状態で、続けて+キーまたは-キーを押すと、メトロノームの音色を切り換えます。



第6章 録音／再生機能を使う

内蔵マイク、もしくは外部マイクなどを使って、内部メモリーに約20分の録音を行うことができます。

最大99曲まで録音することができます。

録音した音を再生する際に、再生スピードはそのまま音程だけ変える、音程はそのまま再生スピードだけ変える、ということもできます。また、ループ再生もできますので、同じ演奏を繰り返し聞いたり、録音した演奏に合わせて繰り返し練習をすることができます。

メモ

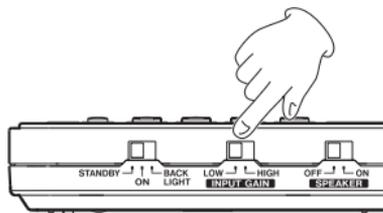
本機は、時間表示機能を持っていません。録音／再生時は、トラック番号のみをディスプレイに表示します。

録音

入力レベルの設定について

本機は、入力信号レベルをピッチ検出や録音を行うのに適切なレベルになるよう、2段階の入力レベル調整機能があります。リアパネルにあるINPUT GAINスイッチを使って、入力レベルが小さい場合はHIGHに、大きい場合はLOWに設定してください。

録音中は、プレイポジションバーが録音レベルメーターになります。



録音する

停止中または再生中にRECORDキーを押します。

メモ

- 現在録音されているトラックの後ろに、新しいトラックとして録音を開始します。
- 録音中は、RECインジケーターが点灯し、ディスプレイの矢印マークが右に流れるように表示します。
- 録音した時間に応じて、ディスプレイのメモリー残量が減っていきます。
- 録音中は、STOPキーとRECORDキー以外のキーを受け付けません。
- 録音中もピッチガイドバー機能を使うことができます。
- 録音中もメトロノーム機能を使うことができますが、内蔵マイクを使って録音する場合は、ヘッドホンを使ってメトロノーム音を聞くことをお勧めします。

録音中に新たなトラックとして録音を開始する

録音中にRECORDキーを押すことにより、RECORDキーを押したところから新しいトラックとして録音を継続します。

録音を停止する

STOPキーを、押して録音を停止します。
また、内部メモリー容量がいっぱいになったら、自動的に録音を停止します。

再生

再生トラックを選択する

停止中または再生中に、◀◀キーまたは▶▶キーを短く押すことにより、再生トラックを選択することができます。

再生する

▶キーを押して、再生を行います。
VOLUMEダイヤルを使って、再生の音量を調節します。

メモ

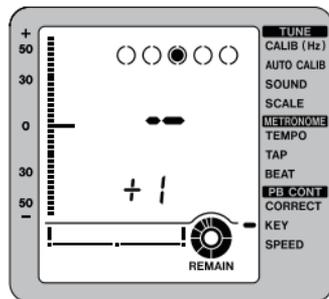
再生時は、内蔵／外部マイクの入力は受け付けません。

早戻し／早送りする

停止中または再生中に、◀◀キーまたは▶▶キーを押し続けることにより、早戻し再生または早送り再生をすることができます。

スピードはそのまま音程を変えて再生する

1. ディスプレーのKEYマーカが点灯するまで、一番下のMODEキーを押します。
2. +キーまたは-キーを使って、音程変更の設定をします。変更できる範囲は、±6半音、半音単位です。

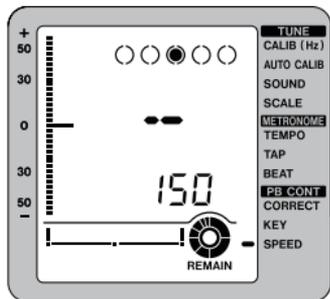


+キーと-キーを同時に押すと、元のキー（音程：初期値）に戻ります。

3. HOMEキーを押すと、音程設定モードを抜けます。

音程はそのままですピードを変えて再生する

1. ディスプレーのSPEEDマーカーが点灯するまで、一番下のMODEキーを押します。
2. +キーまたは-キーを使って、再生スピードの設定をします。変更できる範囲は、50%（半分の速度）～150%、10%単位です。

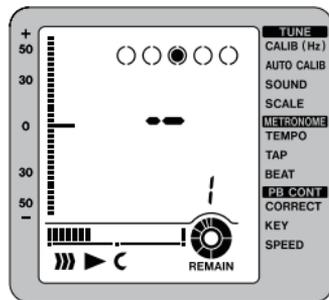


+キーと-キーを同時に押すと、元のスピード（100%：初期値）に戻ります。

3. HOMEキーを押すと、スピード設定モードを抜けます。

ループ再生する

1. ディスプレーのループ表示が消灯していることを確認してください。ループ表示が点灯している場合は、IN/OUTキーを押してループ表示を消灯させてください。
2. 再生中にIN/OUTキーを押してループINポイントを設定します。このとき、ディスプレイのプレイポジションバーの下にINポイント用のループ表示の左側が点灯します。

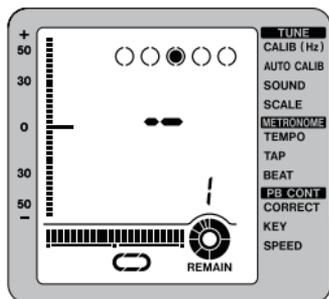


3. ループOUTポイントを設定するには、再度IN/OUTキーを押します。ループOUTポイントが設定されると、ループ再生を開始し、ループ表示部分が回転する表示をします。
ループ再生を解除するには、LOOPキーを押すか、IN/OUTキーを押します。

LOOPキーを押した場合は、ループ再生は解除（オフ）しますが、ループIN-OUTポイントは保持したままです。このときディスプレイ内のループ表示の“C”が点灯します。

LOOPキーを押すことにより、再度ループ再生を行うことができます。

IN/OUTキーを押した場合は、ループIN-OUTポイントも破棄します。



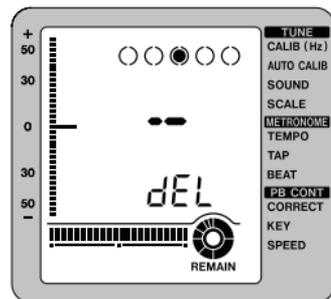
メモ

- ループ間隔は、2秒以上に設定してください。
- ループイン／アウトは、同一トラック内に設定してください。
- ループアウトポイントは、ループインポイントよりも後に設定してください。

トラックを消去する

現在のトラックだけを消去する

1. 停止中にSTOPキーを押しながらRECORDキーを押します。このとき、ディスプレイの設定値表示部に“dEL”と表示し、プレイポジションバーが点滅します。



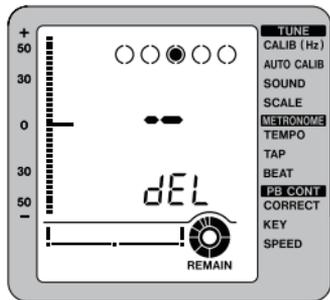
2. PLAYキーを押すと、現在のトラックを消去します。

メモ

STOPキーを押すと、この操作をキャンセルします。

すべてのトラックを消去する

1. 停止中に**STOP**キーを押しながら**RECORD**キーを押します。このとき、ディスプレイの設定値表示部に“dEL”と表示し、プレイポジションバーが点滅します。



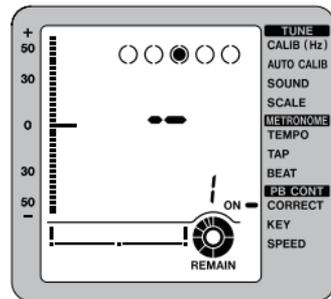
2. +キーまたは-キーを押します。このとき、ディスプレイのプレイポジションバーが消灯し、メモリー残量表示が点滅します。
3. **PLAY**キーを押すと、すべてのトラックを消去します。

メモ

STOPキーを押すと、この操作をキャンセルします。
2. で+キーまたは-キーを押すことにより、現在のトラックだけを消去するか、全トラックを消去するかを選択することができます。

録音した音のピッチを自動補正する

1. ディスプレーの**CORRECT**マーカーが点灯するまで、一番下の**MODE**キーを押します。
2. +キーまたは-キーを使って、この機能のオン／オフを行います。オンになっているときは、ディスプレイの**CORRECT**マーカー横の“ON”表示が点灯します。



3. **PLAY**キーを押して、再生を開始します。
4. 再生音と同時にディスプレイにピッチ表示を行います。このモードを解除するには、2.でオフにします。

定格

音律：

12音平均律、ピタゴラス、ミーントーン、ヴェルクマイスターⅢ、キルンベルガーⅢ、ケルナー、ヴァロッティエー、ヤング

測定範囲：

C2 (65.40639Hz) ~ B6 (1975.533672Hz)

基準発振音：

C2 (65.40639Hz) ~ C6 (1046.502247Hz)

音名：

C、C#、D、Eb、E、F、F#、G、G#、A、Bb、B

チューニングモード：

オートモード (5段階)、サウンドモード

キャリブレーション範囲：

349.0 ~ 499.0Hz、0.1Hz単位

測定精度：1セント

テンポ範囲：4分音符 (記号で) = 30 ~ 300

拍子：1、2、3、4、5、6、7

録音時間：約20分 (1Gビット)

サンプリング周波数：44.1kHz

量子化ビット数：16ビット

チャンネル数：1チャンネル (モノラル)

内蔵マイク：無指向性、モノラル

入出力定格

INPUT端子コンタクトマイク入力

コネクター：6.3mm (1/4") 標準ジャック

PHONES端子

コネクター：3.5mmステレオミニジャック

最大出力：15mW+15mW 以上

(THD+N 0.1%以下、32Ω負荷)

内蔵スピーカー

出力：0.4mW (1kHz、THD+N 1%以下)

一般

電源:単3形電池1本、またはACアダプター (PS-P520)

電池持続時間:

チューナー: 12時間以上

(A音連続入力時、バックライトオフ)

録音: 8時間以上 (バックライトオフ)

* フル録音後はメモリ消去をし再度録音の場合

(単3形アルカリ乾電池使用時。使用状況により変動することがあります。)

消費電力: 1W

(バックライト点灯時、ACアダプター(PS-P520使用時))

外形寸法: 150 x 18 x 64mm

(幅 x 高さ x 奥行き、突起を含まず)

質量: 125g (電池を含まず)

動作温度: 5~35℃

別売りアクセサリ: ACアダプター (PS-P520)

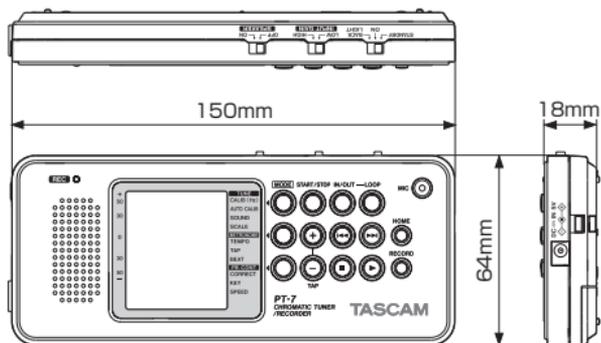
バックアップメモリー

本機は電源をオフにしても、以下の設定をバックアップします。

なお、各設定を行ったあと、2秒後に保存されますので、設定後2秒間は電源を切らないでください。

- キャリブレーション値
- サウンドモード時の出力音
- 音律
- チューナーの応答速度
- メトロノーム音色
- テンポ
- 拍子
- 再生音程
- 再生スピード
- ループポイント

寸法図



- * 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
- * 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポートまでご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く10:00~12:00 / 13:00~17:00です。

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47



® **0120-152-854**

携帯電話・PHS・IP電話などからはフリーダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-356-9137 / FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。

お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30~17:00です。

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田 858



一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

® **0570-000-501**

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。

PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

新電電各社をご利用の場合は、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。

このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社

〒206-8530
東京都多摩市落合 1-47
<http://www.tascam.jp/>

Printed in China